



いつもやさしさと愛情 感謝の心

皆さん、お元気ですか。

澄みきった秋空に、気持ちまで晴れ晴れとしてまいります。行楽の秋となり、どこか郊外に遠出したくなる今日この頃です。

この時期、少し足を伸ばして、日本三大秘境「祖谷峽谷」に行ってみませんか。

「祖谷といえは「かずら橋」「祖谷温泉」が有名です。祖谷口には一級河川である「祖谷峽谷」を流れる祖谷川を「ジップスライド」(ロープを体に巻きつけるでひとつ飛び、木のトンネルを抜ければ眼下には、美しいエメラルドグリーンの川が広がります。川からの高低差五十メートル、長さ三百六十メートルを超えるロングジップスライドは国内トップクラスです。ドキドキ指数はもはや計測不能!若い人に人気です。一度チャレンジしてみませんか。



絵手紙講座 福田信行先生作品 「かずら橋」



さらに奥に行くと、「奥祖谷二重かずら橋」(祖谷のかずら橋は、実は十三本だった。現存するのは二本だけ)や、人力ロープウェイ「野猿」(ロープを自分の手でたぐり寄せ移動する人力ロープウェイ)があります。気候もよくなりました。皆さん一度ご家族で体験してみませんか。

また、伝統料理「あめこのひらら焼き」を食べてみませんか。みそで円形の土手をつくり、ここに野菜や豆腐、こんにゃくなどを入れ、水、砂糖、酒を入れて、石が熱くなったらみそを崩して、鮎やアメゴを並べて焼き上げたものです。その味は、また格別です。

在来種の芋である「こししいも」や豆腐・こんにゃくを串に刺して下焼きをしてみそダシをつけて炭火で焼いて食べます。これは大変おいしいですよ。

そこら少し奥に行くと、築百年以上の古民家をリフォームした宿が数軒あります。今静かなブームが訪れている、農家民宿で「薪割り」「そば打ち」「野菜の収穫」「囲炉裏料理」など様々な体験ができます。自然豊かな山々と、夜には「満天の星空」も楽しめます。

次に、祖谷地方の名産品で、人形浄瑠璃の阿波木偶に似ている囲炉裏で調理した郷土料理で「でこまわし」という食べ物があります。

今月の俳句

終点は

鉄風鈴の

浜の駅

服部 俊次

へ評 海の風のとどく浜の駅に着くと鉄風鈴が鳴っていた。鉄風鈴といえは盛岡地方の南部風鈴が有名であり、高い音のよく響くのが特徴でしょうか。終点に着いた安堵感もあり、暑い中での一瞬の安らぎをおぼえたのでしようか。

三木 光風

吉野俳句同好会

後世に残したい、おもしろい、阿波弁集

あほいきに

訳 .. 何も考えず無理に行う様

使用例: 「ほんなあほいきにスタチいっばいかけたら酸っぱいせえ」

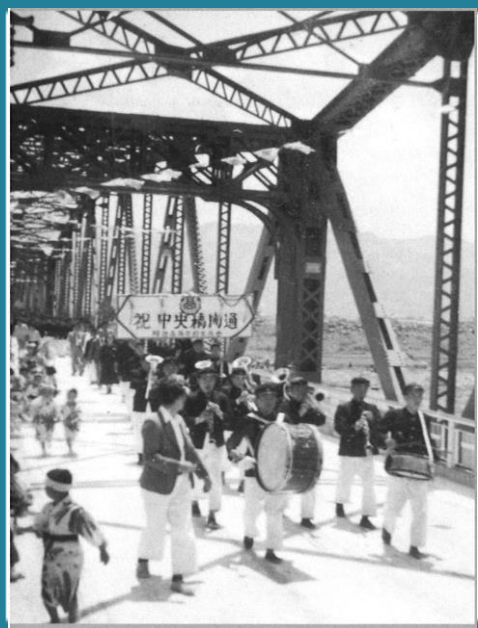
あんでえー

訳 .. あるじゃないか

使用例: 「スタチが無いな」「ここにあってえー」



昔懐かしい風景~写真集吉野川今昔より~



阿波中央橋・にぎやかに渡り初め
昭和二十八年撮影。三夫婦、関係町村長、県議員、職員、園児、阿波踊りによる開通式には、吉野町柿原にある県立阿波高等学校の音楽部も参加している。